

正

賀



嵐山町長 孝光 佐久間

あけまして
おめでとう
ございます。

令和3年の新春をお健やかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。昨年はコロナ禍ということで、皆様も経験したことのない生活を強いらられ、大変なご苦労がございました。ご推察致します。中には、コロナ禍の影響で人生に大きな転換を迫られた方もおられたかも知れません。またコロナ禍を一つのきっかけにして、積極的に新たな方向に人生の舵を切り、歩みだされた方もおられることと存じます。同じ現象が起きて、そのとらえ方ひとつで、チャンスにもなり、不平不満の種にもなる。みんな形は違っていても、問題や悩みを抱えていない人はいないのが現実です。口には出さずとも、それらと闘いながら、折り合いをつ

けながら日々生活しているのが大半の人ではないでしょうか。それは役場の職員も全く同じです。彼らと共に働き始め約4か月が過ぎようとしています。日々自分自身の職務に真摯に邁進している彼らの姿を見ると、頼もしさを覚え、共に働ける喜びを感じ、彼らの誠実さに感謝の気持ちで一杯になります。私も含め、至らぬ点はまだまだあるかとは思いますが、叱咤激励ともに見守っていただければと思います。本年は、まだコロナの影響が色濃く残る1年となるかも知れませんが、東京オリンピック・パラリンピックも開催予定です。感染拡大防止と経済活動、期待と不安、進むべきか留まるべきか、相反することを同時に実現

しなければならぬ状況が続くと思いますが、我々は必ずその状況を乗り越え、大きな飛躍へとつなげることができると信じています。なぜならば、茶道にしても華道にしても、日常を芸術にまで高めることができ、盆栽の小さな空間に宇宙を見出すことができる感性を持った国民だからです。嵐山町民としての誇りをもって、今年1年、また頑張ってください。今年1年、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。結びになりますが、宮沢章二氏の詩の一部をご紹介します。新年のご挨拶とさせていただきます。

「行為の意味」

心はだれにも見えないけれど、心づかいは見えるのだ。それは人に対する積極的な行為だから。同じように胸の中の思いは見えないけれど思いやりは見えるのだ。それは人に対する積極的な行為なのだ。あなたたかい心があたたかい行為になりやさしい思いがやさしい行為になるとき「心」も「思い」も、初めて美しく生きる。それは人が人として生きることだ。



嵐山町議会議員 一人 森

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。令和3年の年頭に当たり、嵐山町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から嵐山町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の春先から始まった新型コロナウイルスの感染拡大はいまだ終息が見えない状況であります。嵐山町では幸いにも感染拡大という状況ではありませんが、町民の皆様

には連日にわたる予防対策に努めていただき、感染の拡大防止にご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。また、このような厳しい状況の中、最前線でご尽力されている医療従事者の皆様に対し、心より感謝を申し上げます。

現状、コロナ禍において、皆様の生活スタイルが激変を余儀なくされている中、議会と致しましては、「町民の声を町政に届ける」という責務を更に遂行していかなければならないと認識しております。今後も、新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、議会としての機能維持と権能の發揮に議員一同、全力で取り組んでまいります。

「行為の意味」

心はだれにも見えないけれど、心づかいは見えるのだ。それは人に対する積極的な行為だから。同じように胸の中の思いは見えないけれど思いやりは見えるのだ。それは人に対する積極的な行為なのだ。あなたたかい心があたたかい行為になりやさしい思いがやさしい行為になるとき「心」も「思い」も、初めて美しく生きる。それは人が人として生きることだ。